

青年委員結成が功重

圧倒的成功をかちとる

日刊 動労千葉

79.5.30 No. 133

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二二五八〇九(公衆電話)22七二〇七

1400 団結の母として、更なる奮闘・前進を誓う！

密集した反動をはねのけて、日々着々と前進する新生動労千葉の闘いに、今一つ決定的な前進と飛躍が勝ちとられた。五月二七日、動力車会館に於て新生動労千葉青年部の結成委員会が圧倒的に勝ちとられ、これまでの八支部結成、乗務員分科結成にひきつづき、千四百総団結にむけての決定的な勝利的地歩をうち固めたのである。とりわけ総括・方針提起・討論を通じて、「本部」暴力集団との組織の存亡をかけたこの間の闘いにおいて、全青年部員が一丸となり、青行隊を結成し、一四〇〇団結の要石として献身的に奮闘し勝利してきたこの半年間、とりわけける・30動労千葉結成以降二ヶ月間の激闘に完全勝利してきたことを確認し、更に、「八〇年代にむけた戦闘的労働運動への歴史的前進」「完全に機の熟した動労大改革にむけ大胆な攻撃へ」の総路線を提起したことの意味は重要である。激動の時代は常に青年がその先端を切り拓く。結成された新生動労千葉青年部四〇〇の総意をもって、全支部・全分科の結成、一四〇〇の総団結への更なる飛躍・攻勢をかちとってゆこう！

身をもって切り拓いた 「激闘の二ヶ月間」の勝利

委員会は、一三時すぎ開始、資格審査委員会により委員会成立の宣言をうけたあと、議長団に照岡(勝浦)・山田(慕張)両君を選出、吉野青年部長挨拶・動労千葉中野書記長の来賓挨拶、宮内副青年部長による経過報告、質疑応答、田中書記長による①「規約・規則の制定について」②「当面の組織・財政・運動方針」等にわたる提案をうけ討論の上、満場一致圧倒的拍手のうちに確認された。最後に、六つのスローガンを採択し、「結成宣言」、役員選出(従来通り)、団結ガンパローをもって終了した。

5.31 臨時大会に総結集を 10時、労働者福祉センター

五月二六日、銚子支部・電車運転士故間淵年男氏(32)の葬儀が八日市場市福善寺においてしめやかに行われた。

五月二三日、二二時ごろ、山武郡芝山町の国道二九六号における自動車事故でほぼ即死の状態であった急逝された間淵君の訃報に銚子支部はじめ他支部

故間淵年男君安らかに
多くの仲間に見守られて、しめやかに葬儀

からも仲間や支部代表がかけつけ驚きと悲しみのうちに、生前の彼の快活な人柄をしのびつつ野辺の送りを行った。動労千葉からは関川幸委員長ほか執行委員が参列し、委員長の手紙をもって故人の霊をなぐさめた。謹しんで全組合員にお知らせするとともに故人の御冥福を祈ります。

確認された当面する方針について (主旨)

- 一、動労と日本労働運動の基本路線をめぐること闘いに完全勝利しよう！ ①八月動労全国大会にむけ更に敢闘精神を燃やし動労大改革への全国的攻勢を強める。 ②残る三支部の結成と団結署名の完遂のため青年部は全力を投入して奮闘する。 ③各支部青年部の結成委員会の早期開催。
- 二、運動方針の基調は地青第二〇回臨時委方針を踏襲し、当面次の課題にとりくむ。 ①春闘総括・東京サミット問題の全支部活動者会議・学習会。 ②労農連帯の旗高く、二期工事阻止・燃料備蓄ゼロへ。 ③労働運動の翼賛化、企業防衛主義、「安定宣言」を廃し国鉄十万人合理化粉砕。 ④日本帝国主義の侵略戦争策動粉砕！ 元号・サミット・狭山・沖縄闘争を闘う。
- 三、青年部役員体制財政方針は各々、七八年度地青委、および第三回支青代確認を踏襲する。

